




【学校教育目標】

21世紀をかしこく、たくましく生き抜く力の育成 ～ 自ら学び、自ら考え、表現できる子～

【研究主題】

「なるほど!なっとく!」生まれる楽習 ～根拠を明確にして自分の考えを表現できる穴小っ子～

つかむ	<p style="text-align: center;">問題場面を把握させ趣意を捉えさせる</p> <p>基本問題</p> <ul style="list-style-type: none"> イラスト、具体物、半具体物、図、表、グラフ、ICT等を用いて、問題場面を把握させる。 問題場面を把握し、趣意を捉えたうえで何をどのように答えなければならないのかイメージさせ、課題に繋ぐ。 
考える	<p>基本問題</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">考えを表出→根拠を引き出す</p> <p>疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ?どうして?どこから?資料(図、表等)でいうと? この数字にはどんな意味がある?算数の言葉でいうと? <p>働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 趣意をもとに、何が根拠となるか考えさせる。 既習を振り返り、既習内容の概念を再確認させる。 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">根拠を明確にして考えを表現させる</p> <ul style="list-style-type: none"> どのように表現すれば相手に伝わるか、クラス全員で表現方法を練り上げる。 表現の型を示し、活用させる。 よいモデル文を示し、何がよいのか考えさせる。 悪いモデル文を示し、何が足りないか考えさせる。 書き出しや文末、キーワードを示す。 条件を示し、表現させる。 望ましい表現を、繰り返し言わせる。 </div> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">☆最終的には教師の働きかけがなくとも、子ども達自身で根拠を明確にして考えを表現できるように鍛えていく。☆</p>
深める	<p>活用問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本問題の学びを生かし、根拠を明確にして自分の考えを表現させる。 「なるほど!なっとく!」と思えるか、考えを交流し合う。 
振り返る	<p>確認問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽習の成果を生かし、根拠を明確にして自分の言葉で考えを表現させる。 ※「自分の言葉で表現」できるように、モデル文や型等は示さない。 ※見取りが終了した後、全体に対して支援をすること。 

令和7年度 穴小っ子 楽習の合言葉

「なるほど!なっとく!」生まれる楽習を、みんなで作りあげよう!

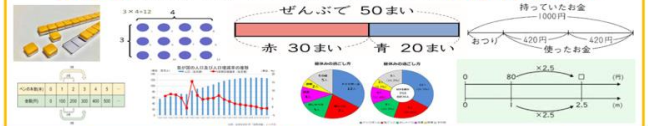


なるほど、そういうことか!。こんきよがはっきりしていたから、とつてもなっとくしたよ!

あなたが話した相手が、思わず「なるほど!なっとく!」とつぶやいてしまいうくらい、わかりやすい伝え方ができるようになろう!

「なるほど!なっとく!」生まれる伝え方

根拠(資料からわかること)を伝えよう



なぜなら

だから

自分の考えを伝えよう